最終更新日：2026 年 10 月 9 日

書 名：ラクラクわかる！5 類消防設備士 集中ゼミ 改訂 2 版
発 行：2024 年 5 月 27 日
ISBN：978-4-274-23188-9

発生刷数	頁数 位置	正誤内容		備考
		誤	正	
1 刷	P.89 輪軸の公式	$F=\frac{D}{2}=W\frac{d}{2}$	$F\times\frac{D}{2}=W\frac{d}{2}$	
1 刷	P138 本文 5 行目	0.5 ㎡の円が内接する大きさになります（図 4 ）。	0.5 m の円が内接する大きさになります（図 4 ）。	
1 刷	P156	⑦避難器具用ハッチの下ぶたの下端は、避難器具用ハッチの下ぶたが開いた場合に、避難空地の床面上 1.8m以上の位置でなくてはなりません。 ⑧避難器具用ハッチの下ぶたの下端は、避難器具用ハッチの下ぶたが開いた場合に、避難空地の床面上 1.8m以上の位置でなくてはなりません。重要！ ⑨避難はしご又は垂直式救助袋を使用状態にした場合、避難はしごの最下部横桟又は垂直式救助袋の出口部分から降着面等までの高さは、0.5m以下でなくてはなりません。	⑦の項目を削除 次項の丸囲みの数字、⑧⑨は⑦⑧となる ⑦避難器具用ハッチの下ぶたの下端は、避難器具用ハッチの下ぶたが開いた場合に、避難空地の床面上 1.8m以上の位置でなくてはなりません。 重要！ ⑧避難はしご又は垂直式救助袋を使用状態にした場合、避難はしごの最下部横桟又は垂直式救助袋の出口部分から降着面等までの高さは、0.5m以下でなくてはなりません。	
1 刷	P207 問 1　図面内文字	物販販売店舗 114 ㎡	物販販売店舗 116 ㎡	
1 刷	P224 問 15 の解答	解答－（2） 解説　協会は（11）項なので、選択肢（2）は該当しません。	（4）	
1 刷	P.227 問 3 の解答	長さ　50cm 以上 ※　表の右下	長さ　10cm 以上 ※　表の右下	
1 刷	P.228 問 3 の解答 （3）	～。避難はしごは展張時に降着面から最下段の横桟までが 50cm 以内でなくてはなりません。	～。防火対象物から 10cm 以上の距離を保有するために、有効な突子を横桟の位置ごとに設けなくてはなりません。	

1刷	P.231 問7 設問	～ないが、この規定に関する記述のうち誤っているものは次のうちどれか。	～ないが、この規定に関する記述のうち正しいものは次のうちどれか。	
1刷	P.231 問7 （1）	（1）非常警報装置は、準地下街に設置するときは、消防機関に届け出て検査を受ける。	（1）非常警報設備を準地下街に設置するときは、消防機関に届け出て検査を受けなくてよい。	
1刷	P.232 問7 （2）	～必要があると認めて指定をされれば、簡易消火器具を設置した場合、消防機関に届け出て検査を受ける。	～必要があると認めて簡易消火器具を設置した場合、消防機関に届け出て検査を受けなければならない。	
1刷	P.232 問7 （3）	～検査を受ける場合、消防用設備等の設置工事が完了してから 4 日以内に届け出て検査を受ける。	～検査を受ける場合、消防用設備等の設置工事が完了してから 4 日以内に届け出て検査を受けなければならない。	
1刷	P.232 問7 （4）	（4）延べ面積が 300m² に満たない百貨店で、自動火災報知設備を設置したが検査は受けなくてもよい。	（4）延べ面積が 300m² 未満の百貨店で、自動火災報知設備を設置した場合、検査は受けなくてもよい。	
1刷	P.232 問10 設問	避難器具の設置義務のないものは、次のうちどれか。～	避難器具の設置義務のあるものは、次のうちどれか。～	
1刷	P.245 問10	解答―（4）	解答―（3）	
1刷	P.247 問36 解説		鋼に加工性を持たせるために行うのは焼なましである。また、急冷却するのは焼入れである。	